



野田学園幼稚園

平成23年度
No. 23

育ちのめ

(1月31日)

「ぼくのたこ
とぶかな？」



「たこが
とぶよ」
かぜが
ふいてきた

絆が見える

1月29日午前11時から休園中の子ども達の健康状態について園へメールで知らせていただくことになっていました。

教員みんなが緊張した面持ちでメールを待ちました。

「ゆり組の母親です。は健康で元気です。」

次から次へと子どもさんが元気であることが分かってくるとお互い顔を見合わせて、ゲーのしぐさ^{マル}の動作が、思わず出てきました。

これで、まずインフルエンザの第1関門は通過したと判断しました。

私は「幼稚園(学校)というものは子どもあつての幼稚園、元気になってくれて本当にありがとう」と思わず口にだしてしまいました。いろいろとご心配をかけ申し訳ありませんでした。

先日、県スポーツ文化センターに特別展示中の「遊具」の見学に出かけました。「これはすばらしい!」「なるほど!」と感嘆させられる製品が所狭しと並んでいました。

その場で、ある方から名刺をいただきました。

社の名刺

(わたしたちのねがい)
幼児の美しい心
すこやかなからだ
ゆたかな夢をそだてる
それは 社のねがいです

名刺の裏面を見ると社員が心がける「わたしたちのねがい」として、刷り込まれていました。

とかく利益を優先する世の中にあつて“美しい心、すこやかなからだ、ゆたかな夢”といった理念、目標を持って取り組んでおられることに敬服いたしました。

社では毎朝全員で声高らかに唱和しておられると聞きました。

ひるがえって考えてみると本園の教職員が胸にさげているストラップ(左図参照)“5つのアクション”は「これこそ教育の原点」と考え実践を重ねているところですが、ここらあたりで、今一度アクションの実行度合いについて見直してみる必要性にも気付かされました。

また、私は是非付け加えていきたいこととして、“**あったか言葉**(例えば、ありがとう、ごめんね、うれしいねなどの言葉)”をふやしていきたいと思っています。

🍡 私たち教師の5つのアクション 🍡

子どもを抱きしめ
話をよく聞き
笑顔とほほえみで
よいところをほめ
励ましの言葉がけをいたします。

みんなで もちをもむ



きねは
おもいよ
ヨイショ!



空高く
まい
あがれ